

## 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

＜国際地域学科＞（認定課程：中学校教諭一種免許状（英語））

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育や教職に関する基本的事項について理解します。</li> <li>・免許法施行規則第66条の6に係る科目等の履修や教科に関する科目の履修を通して、教員として必要な知識や技術を身につけます。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する知識を修得します。</li> <li>・免許法施行規則第66条の6に係る科目等の履修や教科に関する科目の履修を通して、教員として必要な知識や技術を身につけます。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の行動、発達課程、心理等に関する基礎的な知識を身につけます。</li> <li>・道徳教育の目標や実際の課題等について理解します。</li> <li>・英語科教育の目的、構成要素（環境、教員、生徒、教材）、教授理論の基礎を学び、学習のねらいを踏まえて一つの授業を作りあげる過程を理解します。</li> <li>・高等学校までに学んできた英文法の知識を復習しつつ、英語学の基礎となる英文法についての理解を深めます。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の歴史や、教育に関する社会的、制度的又経営的事項について理解します。</li> <li>・特別活動の意義や特質、指導原理を理解します。</li> <li>・授業展開の基礎を学び、授業中の1つの活動について学習指導案を作成するとともに、主体的に教材研究を行います。</li> <li>・英語学の基本的な考え方を理解します。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程について歴史的視野から、および他国の事例を通して学び、新しい時代の学力と教育の方法について理解を深めます。</li> <li>・生徒理解の理論を学び、事例学習を通して効果的な生徒指導の方法を身につけます。</li> <li>・教科書の内容を理解し、授業内の各活動を密接に関連づけ、1時間の授業全体を見据えた指導案を作成します。</li> <li>・英語音声学の基礎を学び、英語の音声面への理解を深めます。</li> <li>・英語圏の文化と思想を多角的に学び、異文化に対する理解を深めます。</li> <li>・文学的な英語表現の特徴を理解し、英語の読解力と文学作品の鑑賞力を高めます。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談、カウンセリングの理論及び方法を学び、発達障がいや不登校、親子関係に関する理解を深めます。</li> <li>・情報機器及び教材の活用を含む教育の方法及び技術を理解します。</li> <li>・2週間の教育実習を通し、板書、話し方など、授業をするための基本的な技能を身につけ、実際の生徒に対し、分かりやすい授業を組み立てることを目指します。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2週間の教育実習を通し、生徒の反応や理解度に応じて、指導教諭等の助言を得ながら、授業内容や教材を柔軟に工夫することを目指します。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬授業、ケーススタディ等の実践的な実習を踏まえた上で、実際の教職員との意見交換等により、実際に教壇に立つための実践力と問題解決力を養います。</li> </ul>

<国際地域学科> (認定課程：高等学校教諭一種免許状（英語）)

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育や教職に関する基本的事項について理解します。</li> <li>・免許法施行規則第66条の6に係る科目等の履修や教科に関する科目の履修を通して、教員として必要な知識や技術を身につけます。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職の意義や教員の役割、職務内容等に関する知識を修得します。</li> <li>・免許法施行規則第66条の6に係る科目等の履修や教科に関する科目の履修を通して、教員として必要な知識や技術を身につけます。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の行動、発達課程、心理等に関する基礎的な知識を身につけます。</li> <li>・英語科教育の目的、構成要素（環境、教員、生徒、教材）、教授理論の基礎を学び、学習のねらいを踏まえて一つの授業を作りあげる過程を理解します。</li> <li>・高等学校までに学んできた英文法の知識を復習しつつ、英語学の基礎となる英文法についての理解を深めます。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の歴史や、教育に関する社会的、制度的又経営的事項について理解します。</li> <li>・特別活動の意義や特質、指導原理を理解します。</li> <li>・授業展開の基礎を学び、授業中の1つの活動について学習指導案を作成するとともに、主体的に教材研究を行います。</li> <li>・英語学の基本的な考え方を理解します。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程について歴史的視野から、および他国の事例を通して学び、新しい時代の学力と教育の方法について理解を深めます。</li> <li>・生徒理解の理論を学び、事例学習を通して効果的な生徒指導の方法を身につけます。</li> <li>・教科書の内容を理解し、授業内の各活動を密接に関連づけ、1時間の授業全体を見据えた指導案を作成することを目指します。</li> <li>・英語音声学の基礎を学び、英語の音声面への理解を深めます。</li> <li>・英語圏の文化と思想を多角的に学び、異文化に対する理解を深めます。</li> <li>・文学的な英語表現の特徴を理解し、英語の読解力と文学作品の鑑賞力を高めます。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談、カウンセリングの理論及び方法を学び、発達障がいや不登校、親子関係に関する理解を深めます。</li> <li>・情報機器及び教材の活用を含む教育の方法及び技術を理解します。</li> <li>・2週間の教育実習を通し、板書、話し方など、授業をするための基本的な技能を身につけ、実際の生徒に対し、分かりやすい授業を組み立てることを目指します。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2週間の教育実習を通し、生徒の反応や理解度に応じて、指導教諭等の助言を得ながら、授業内容や教材を柔軟に工夫することを目指します。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬授業、ケーススタディ等の実践的な実習を踏まえた上で、実際の教職員との意見交換等により、実際に教壇に立つための実践力と問題解決力を養います。</li> </ul>

<子ども学科> (認定課程：幼稚園教諭一種免許状)

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育や教職に関する基本的事項について理解します。</li> <li>・免許法施行規則第66条の6に係る科目等の履修を通して、教員として必要な教養や基本技能を身につけます。</li> <li>・体育や造形表現についての基本的知識・技術を身につけます。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の心身の発達に関する基本的事項について理解します。</li> <li>・免許法施行規則第66条の6に係る科目等の履修を通して、教員として必要な教養や基本技能を身につけます。</li> <li>・保育内容関連科目の履修を通して、指導法を理解します。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の学習過程や、障がいのある幼児の心身の発達及び学習過程について理解します。</li> <li>・教育課程の意義及び編成の方法を理解します。</li> <li>・幼稚園教育実習指導を通して、教育実習の目的や幼稚園生活全体について理解し、子ども理解のあり方や日誌の書き方等を身につけます。</li> <li>・幼稚園教育実習Ⅰ(1週間)の実習を通して、幼稚園生活の流れや子どもの実態、保育者としての関わり方等を理解します。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育の理念並びに歴史や、教育に関する社会的、制度的又は経営的事項について理解します。</li> <li>・音楽や子ども文化等の科目の履修を通して、教科に関する力量を高めます。</li> <li>・幼稚園教育実習Ⅰ(1週間)の実習を通して、子どもの実態をふまえた保育者の関わり方等を実践場面への参加を通して深めるとともに、教材研究を行い、部分指導案を立て、実践し、省察する態度を身につけます。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の役割や職務内容について理解します。</li> <li>・幼児理解・教育相談の理論及び方法を理解します。</li> <li>・幼稚園教育実習Ⅱ(2週間)の実習を通して、実習園の特色を理解し、遊びの指導案に加えて、食事場面や帰りの会等1日の様々な生活場面の指導案も立て、実践し、省察する態度を身につけます。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報機器及び教材の活用を含む教育の方法及び技術を理解します。</li> <li>・保育内容関連科目の履修を通して、指導法についての力量を高めます。</li> <li>・ピアノの技術を高めるとともに、子どもの遊び文化について理解します。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「発達障がいのある子どもの理解」や「子育て支援の実際」等、各自の興味関心等に基づいた科目を履修し、教員として必要な力量を高めます。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教職実践演習」の中で、模擬授業、ケーススタディ等の実践的な授業を通して、実際に教壇に立つための実践力と問題解決力を養います。</li> </ul>

<健康栄養学科> (認定課程：栄養教諭一種免許状)

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育や教職に関する基本的事項について理解します。</li> <li>・免許法施行規則第66条の6に係る科目等の履修を通して、教員として必要な教養や基本技能を身につけます。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の意義および教員の役割、職務内容等について理解します。</li> <li>・免許法施行規則第66条の6に係る科目等の履修を通して、教員として必要な教養や基本技能を身につけます。</li> </ul>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の発達過程、行動や学習心理等について理解を深め、指導法につなげます。</li> <li>・道徳教育の目標や実際の課題等について理解します。</li> <li>・免許法施行規則第66条の6に係る科目等の履修や教科に関する科目の履修を通して、教員として必要な知識や技術を身につけます。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育制度の変遷を学び、現代社会と学校における教育のあり方について理解します。</li> <li>・特別活動の意義や指導原理を理解し、実践現場で活用できる指導法を習得します。</li> <li>・免許法施行規則第66条の6に係る科目等の履修や教科に関する科目の履修を通して、教員として必要な知識や技術を身につけます。</li> </ul>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒理解に関して、さまざまな事例を通して効果的な指導法を習得します。</li> <li>・「学校栄養教育総論」において、栄養教諭の職務内容、食に関する指導の内容および方法を理解し、管理栄養士養成課程の履修科目で習得した知識を関連づけながら、栄養教諭に必要な基礎知識を習得します。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報機器及び教材の活用を含む教育の方法及び技術を理解します。</li> <li>・教育相談、カウンセリングの理論及び方法を学び、発達障がいや不登校、親子関係に関する理解を深めます。</li> <li>・「学校栄養教育各論」において、食に関する指導に係る全体計画の作成方法、学校・家庭・地域の連携方法や地産地消、児童生徒への指導上の配慮の方法を習得します。</li> </ul>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程について他国の事例を通して学び、学力と教育の方法について理解を深めます。</li> <li>・教科等の学習活動を関連づけ、「食に関する指導」の授業全体を見据えた指導案を作成することを目指します。</li> <li>・「学校栄養教育実習指導」の中で、学習教材の活用法や指導案及び指導効果の評価方法について学び、実践演習へ向けての力量を高めます。</li> </ul>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2週間にわたる「学校栄養教育実習」を通して、学校組織や学級経営の実際や学校教育における食に関する指導の実際について体験し、栄養教諭として必要な総合的な知識と技術を習得します。</li> <li>・「教職実践演習（栄養教諭）」の中で、模擬授業、ケーススタディ等の実践的な授業を通して、実際に教壇に立つための実践力と問題解決力を養います。</li> </ul>